平成30年度　新学術領域研究“脳タンパク質老化と認知症制御”

研究者の研修のための中期海外派遣　募集要項

新学術領域研究“脳タンパク質老化と認知症制御”では、平成30年度「研究者の研修のための中期海外派遣」を募集します。

1. 目的：

研究者が海外の大学や研究機関に数週間から数ヶ月滞在し、特定の研究手技を習得し、共同研究に携わることで海外ネットワークを形成することを目的とする。派遣期間内に海外での学会発表を行うことは差し支えないが、学会発表のみを目的とするものは認めない。学会発表のみを目的とする場合は「研究者の研究成果発表のための海外派遣」に応募すること。

２．派遣の対象となる研究者：

派遣の対象は原則として一定の研究能力及び当該応募領域においてポジションを有する研究者で、今後の領域形成に重要な役割を果たす者とする。

３．派遣期間：　原則として数週間から数ヶ月とする。

４．派遣者数：　年間３名程度の予定。

５．派遣費用：

派遣に要する旅費・日当及び宿泊料等は名古屋大学の定める出張経費支給基準を参考にする。上限を１２０万円とし最終的には領域代表が決定する。

６．派遣手続：

（１）研究者の研修のための海外派遣を希望する者は、下記の書類を提出する。

1. 派遣申請書 (様式１、２)

様式１には、推薦者（本新学術領域研究の計画班員或いは公募研究者）の自筆署名、捺印の上、データを電子メールの添付書類として国際活動支援班事務局まで送付すること。

注１：　身分によっては雇用規定に抵触し、派遣が難しい場合もあるため、申請書には職名と雇用財源の記入をお願いします。

注２：　様式1，2とも印刷したものを新学術領域研究・国際活動支援班事務局まで郵送する必要はありません。

1. 派遣受け入れ先からの受け入れ承諾のメール

承諾メールを新学術領域研究・国際活動支援班事務局へ転送すること。

７． 申請書類提出期限：　応募種類の提出は出発の3ヶ月以上前とする。

＊何らかの理由で応募期間に間に合わない場合は新学術領域研究・国際活動支援班事務局へ問い合わせること。

８．書類送付先

名古屋大学大学院医学系研究科・新学術領域研究・国際活動支援班事務局

　　　　 Email: int-pro-deme@med.nagoya-u.ac.jp

　　　　TEL: 052-744-2026/ FAX:052-731-8131

９．新学術領域研究・国際活動支援委員会にて審査選考し、派遣者を決定する。

派遣許可を受けた者は、旅行（出張）手続（名古屋大学の定める書式による）を取るため、事務局と連絡を取り合って進めることとする。

１０．海外研修にあたっては、事後に研修報告書（日本語で1000-1500字程度・書式あり）と研修風景や研修先で海外研究者と一緒に写った写真など2-3枚程度を国際活動支援班事務局へ提出すること。

１１．その他、研修内容などについてのプレゼンテーションや研修についての記事の執筆を依頼することがある。